

坡州市、日本の秦野市と大人のサッカー交流を実施
(アジアニュース通信) 2018年3月6日 10時18分



京畿道坡州市サッカー協会（会長キムサングク）は、選手と関係者で構成された民間サッカー交流団が、3日から2泊3日の日程で友好都市の日本にある秦野市で親善サッカー試合を行ったことを6日に明らかにした。

2007年から始めた幼少年サッカー交流に続いて、民間交流の拡大として推進された大人のサッカー交流は、昨年引き続き2回目で、両市サッカー協会が主催となって推進してきた。

キムサングク坡州市サッカー協会会長は「サッカーは人類共通の言語であり、文化であり、疎通と和合の手段」とし、「今回の親善交流戦を通じ、勇気・希望・感動と喜びを感じて、年齢や性別、階層を超えて共同体意識と友情を築くことを願う」と話した。

西村辰巳秦野市サッカー協会会長は「両市のサッカー協会の変わらない相互信頼を基に、友好協力を伸ばし民間交流を活性化してくれれば良いと思う。」と話した。

坡州市民間交流団は秦野市選出たちと試合のほかに秦野市の主要な施設を見て回り、親善交流会に出席するなど、友好都市間の友誼を深める時間を過ごした。

秦野市は東京から60Km離れたところにあり、神奈川県中西部に位置し、環境にやさしい都市です。

坡州市とは2005年に友好都市を結び、農業、スポーツ、文化、行政など多方面で活性化し、交流を実施している。